

main topic

駆ける 懸ける

第15回に



鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン KAMOSHIIKA HALF MARATHON

第15回
記念大会

8秋晴れの鈴鹿山脈をバックに田園地帯を快走9給水所のスタッフから手渡しで水を受け取るランナーたち10ファミリーの部では、子どもと大人が力を合わせて1キロを駆け抜ける11レース中に勝利を確信してガッツポーズ12コースの各所でランナーに贈られる声援13完走を祝してみんなで記念撮影14坂を登りきった後は三重県民の森の中をトップスピードで駆け降りる

秋晴れの中、町内を駆ける

感 感染症の影響を受け、3年ぶりの開催となった鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン。これまでに2年間の延期を経て、令和4年10月16日ようやく第15回記念大会を開催することができました。当日、エントリーしたランナーの総数は約4000人。部門ごとに分かれて次々にスタートし、秋晴れの菰野町内を気持ちよく駆け抜けました。今月号では大会の様子を写真とともにお伝え

します。

3年ぶりの出走



1菰野I.C付近を走り抜けるトップ集団2約2,000人が一斉にスタートしたハーフの部3町内4か所に設けられた給水所4靴に取り付けたICチップとゴールに設置されたセンサーでタイムを計測5沿道からの工夫を凝らした応援6役場本庁に笑顔でゴールイン7尾高キャンプ場付近の上り坂を険しい表情で登るランナー